

畜産ネットワーク ちば

2020年1月17日
第47号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

年頭のご挨拶



公益社団法人千葉県畜産協会
会長 森 英介

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。

平素より、千葉県畜産協会の事業の推進につきまして、御理解と御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

本年は、平成から令和となって初めての正月となり、改まった気持ちで元日を迎えることができました。

令和元年となりました昨年は、市民生活においても、畜産業においてもいろいろなことが起こった1年となりました。

振り返れば、一昨年12月30日にTPP11協定が発効し、2月1日には日EU・EPAが、さらには本年1月1日に日米貿易協定が発効されております。少しずつではありますが、畜産物の輸入が増加しており、国産・千葉県産の畜産物価格の下落を心配しているところ です。

なお、10月には消費税増税が敢行され、その後において、消費者の牛肉消費に若干なりとも影響が見られております。

また、一昨年9月に岐阜県で発生があったCSF（豚コレラ）は、イノシシの感染拡大とともに、ついには関東地方にまで発生が拡大し、本県も予防的ワクチン接種推奨地域に指定されるまでに至りました。アジア地域で感染が拡大したASF（アフリカ豚コレラ）とともに、養豚経営にとって大きな脅威となっており、当協会は「ASF侵入防止緊急支援事業」の実施主体

として、養豚農場における飼養衛生管理の充実強化に関わっているところです。

9月9日未明の台風15号から始まった自然災害3件は、本県に大きな被害をもたらしました。停電や断水による生活被害はもとより、千葉県畜産においても、畜舎損壊、生乳の廃棄や減産、家畜のへい死など大きな被害が見られました。本協会においても、千葉県畜産フェアをはじめ多くの会議・行事を中止こととなり、関係者に多大なご迷惑をおかけしたところ です。改めて、深謝いたしますとともに、被害を受けた農家の皆様にはお見舞い申し上げ、早くの復旧と経営再建を祈念いたします。

さて、東京オリンピックも開幕まで残り200日を切りました。安全で安心できる千葉県産畜産物を多くの消費者に提供すべく、当協会としては農場HACCPやJGAPの推進に努めており、また、畜産フェアの開催やチバザポーク・チバザビーフ等の活動を通じて消費者へのアピールをより一層強化してまいります。

なお、チバザビーフ協議会においては、ブランド力向上及びブランドの浸透強化を図ることを目的に本年10月24日（土）、25日（日）に開催予定の「東京食肉市場まつり」に再チャレンジします。千葉県の指導と関係者の協力を得て、より一層のアピールの場としてまいります。

そのほか、多岐にわたる事業を進める本協会ですが、今年も農家の視点に立ち、協会職員一丸となって業務に取り組んでまいります。

どうか、令和2年が皆様方にとりまして、輝かしい飛躍の年となりますよう、心から御祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

目次

- [1] 年頭のご挨拶
- [2] 第57回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ
- [4] 家畜防疫対策用車両を導入しました
2019年 第13回千葉県畜産フェア
- [5] 肉用子牛生産者補給金制度
肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）
- [6] 畜産関係施設リース（通常リース）のご案内
- [8] チバザビーフ協議会報
- [10] チバザポーク便り
- [12] NPC通信
- [15] NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信
- [16] 令和元年度エコフィード研修会開催のお知らせ

第57回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ

千葉県農林水産技術会議畜産部会主催の試験研究成果発表会が開催されます。

参加は無料で、事前の申し込みも必要ありません。開催日時、場所、課題名等は下記のとおりです。

お問い合わせの上、多数のご来場をお待ち申し上げます。（千葉県畜産総合研究センター）

<酪農・肉牛部門>

日時：令和2年1月30日（木）10時～12時15分

場所：東金文化会館 小ホール

東金市八坂台1-2107-3（TEL：0475-55-6211）

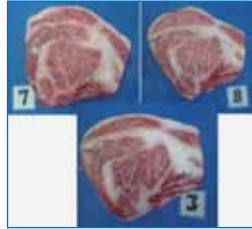
○電車をご利用の場合 JR東金駅より徒歩約20分

◆バイオチン給与が黒毛和種去勢牛の肉質に及ぼす影響

（畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 小林大誠）

肉質向上効果が期待されるバイオチンの給与が黒毛和種去勢牛の発育や枝肉成績に及ぼす影響について報告する。

バイオチンを給与した牛肉→



◆乾乳期の低栄養管理が乳牛の生産性に及ぼす影響

（畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 倉地充）

乳牛の健全性向上と飼養管理の簡略化を図るため、乾乳期の低栄養一群管理が乳生産性などに及ぼす影響について報告する。

◆茎葉型イネWCSなどの自給飼料を活用した発酵TMRが乳牛の生産性に及ぼす影響

（畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 犬飼愛）

「たちすずか」イネWCSとトウモロコシサイレージを粗飼料源とした発酵TMRの給与が泌乳中後期牛の生産性に及ぼす影響について報告する。

発酵TMRの給与→



◆県産肥育牛の血液性状と枝肉成績との関係

（畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 諸岡佳恵）

チバザビーフの品質向上を目的に実施した4年間の血液分析から枝肉成績に及ぼす影響について検討したので報告する。

◆アルファルファ単播草地の省力的な造成・管理技術の開発

（畜産総合研究センター 企画環境研究室 青木大輔）

高タンパク質粗飼料であるマメ科牧草のアルファルファを、県内で安定して生産するためには苦土石灰による土壌pHの矯正と、播種時に種子への根粒菌接種が有効である。

※引き続き同会場において千葉県畜産総合研究センター主催の「スマート農業に関する情報交換会」及び千葉県主催の「飼料増産に関する情報交換会」が開催されます。

<養豚部門>

日時：令和2年2月12日（水）10時00分～11時55分

場所：印旛合同庁舎 大会議室

佐倉市鐺木仲田町8-1（TEL：043-483-1128）

○電車をご利用の場合 JR佐倉駅より徒歩約15分

京成佐倉駅より徒歩約25分

※駐車場に限りがありますので、電車を利用するかお車の場合は乗り合わせるの来場をお願いします。

◆豚舎用日本型洗浄ロボット開発に向けた実証試験

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 竹尾駿）

肥育、分娩豚舎用の洗浄ロボットで人による洗浄時間を2/3程度削減でき、豚房内の細菌数も人による洗浄と同程度で、豚舎洗浄ロボットにより作業時間の短縮が可能である。

左) 肥育豚舎用洗浄ロボットによる洗浄 →

右) 分娩豚舎用洗浄ロボットへのティーチング



◆BODバイオセンサーを利用した養豚排水の窒素除去システムの開発

(畜産総合研究センター 企画環境研究室 長谷川輝明)

BODバイオセンサーの利用により、排水中のBODを適時測定できる。BODの測定値に基づき、浄化槽の曝気制御を図ることで硝酸性窒素の低減と節電効果が期待できる。

BODバイオセンサー



◆畜産密集地帯における臭気対策の取り組み (畜産総合研究センター 企画環境研究室 田中航輝)

旭市内の臭気対策の一助とするため、旭市役所及び海匠農業事務所と連携し広域的な臭気調査と、養豚農場4戸において臭気対策の取組みを開始したので、その概要を紹介する。

◆保存中の精子濃度と希釈倍率が豚人工授精用精液の運動性に与える影響

(畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 竹尾駿)

保存中の豚人工授精用精液は精子の濃度が1.2億/mlで、希釈倍率では20倍以上で精子の運動性が低下することがわかり、人工授精用精液の最適な希釈条件が設定できた。

左) 顕微鏡による保存中の豚精子の観察
右) 採精直後の豚精液



※引き続き同会場において千葉県畜産協会主催の「千葉県養豚大会」が開催されます。

<養鶏部門>

日時：令和2年2月4日(火) 10時30分～12時15分

場所：成田国際文化会館 小ホール

成田市土屋303 (TEL：0476-23-1331)

○電車をご利用の場合

京成成田駅中央口からバス利用：「イオンモール成田」行きで

「イオン成田店」下車、徒歩10分

京成成田駅東口からバス利用：「文化会館」下車



◆採卵鶏における誘導換羽を伴わない長期飼育が産卵後期の産卵性および卵質に及ぼす影響 (畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 伊藤香葉)



←試験鶏の様子

誘導換羽を伴わない700日齢までの長期飼育が産卵性、卵質および経済性に及ぼす影響を、産卵後期の卵殻質改善を目的とした25-OH-D3の給与効果とともに報告する。

◆新青色卵殻鶏の作出 (途中経過報告) (畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 小形次人)

千葉県の種鶏であるWAは約30年が経過し、卵殻の色と強度が劣化してきた。種鶏に新しい血統を入れ、第二世代(F2)まで作出したので、その産卵成績と卵質成績を報告する。

青色卵殻鶏WA×岡崎アローカナ (F2) →



◆採卵鶏主要銘柄長期飼育比較調査 (畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 市原光一)

今年度は8銘柄の育成状況、産卵成績等について調査を行い、476日齢までの成績について取りまとめたので報告する。現在、700日齢まで飼育する長期飼育試験中である。

※引き続き同会場において、鶏病研究会千葉県支部主催の「技術研修会」が開催されます。

【お問い合わせ先】

千葉県畜産総合研究センター
 TEL：043-445-4511 FAX：043-445-5447
 (http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/)

千葉県農林水産部畜産課
 TEL：043-223-2939 FAX：043-222-3098

家畜防疫対策用車両を導入しました

口蹄疫、CSFや高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染性疾病の発生時、あるいは野生イノシシの調査等において、県家畜保健衛生所は、死亡畜や死亡家畜、あるいは消毒用機器などの防疫対応資材の円滑な運搬手段を必要としています。

千葉県畜産協会では、このような要望に応えるため平成31年度事業として新たに「家畜伝染性疾病防疫活動円滑化推進事業（協会単独）」を設け、この度、家畜防疫対策用車両を導入しましたのでご紹介いたします。



●貸出し予定期間	令和元年12月から令和10年度まで（契約は単年度ごと）
●家畜防疫対策用車両の仕様	軽トラック、テールゲート昇降装置付き、パートタイム4駆、オートマチック、スタッドレスタイヤ付属
●保管及び主な利用家畜保健衛生所	南部家畜保健衛生所

20年間利用した1.5トンクレーン付きトラックに代わるものですので、長らく大事に使っていただきますようお願いいたします。（衛生指導課 松木）

2019年 第13回千葉県畜産フェア

「千葉県畜産フェア」につきましては、消費者のみなさんに千葉県の畜産や畜産物に理解を深めて頂くために、船橋競馬場で毎年開催しており、今年で第13回目を迎えるべく準備を進めておりました。

今年度は新規に4団体、最終的に28団体の出展が決まり、県内の畜産のPRや牛乳・牛肉・豚肉・卵等の販売、また、抽選会は大抽選会とスタンプラリーによる抽選会の2本立て、更に来場者数の増加を図るため、若年層やその保護者等を取り込むべく、キッズダンスというイベントも新たに計画しておりました。

しかし、周知のとおり、超大型の台風19号が千葉県を直撃する進路をとった事に備え、来場者及びスタッフの安全性等を考慮し、やむなく中止とさせていただきます。

そこで、千葉県競馬組合さんにご協力いただき、令和元年10月28日（月）～11月1日（金）に開催の令和元年度第8回船橋競馬において、急遽、千葉県畜産賞（冠レース）を5日間にわたって設定していただき、千葉県産畜産物の消費拡大についてPRを行ったところでございます。

「畜産フェア」につきましては、自然や会場の状況に左右されるイベントではございますが、来年度の実施を目指し、千葉県の畜産業への理解、畜産物の消費拡大を図っていきたくと考えておりますので、関係の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。（企画課 武田）

千葉県畜産賞No.1～No.5 5日間にわたり冠レースを開催。
その他、シェフミートチグサの「一（いち）」シリーズ「ポークジャーキー」を10月28日・29日・30日に各日先着500名に来場者プレゼントとして提供いたしました。

馬名	厩舎	騎手	タイム	人気	注
1. 4	メイタイライオン	藤田 大	1:14.1	1A	
2. 10	プレイングファイン	菅原 誠	1:14.3	2A	
3. 5	モリノマリオン	森 泰	1:15.3	3A	
4. 8	ジウヂ	山崎 誠	1:15.7	4	
5. 7	スターロード	藤田 大	1:15.9	5	
6. 11	エメラルドワゴン	藤田 大	1:15.9	7	
7. 2	クリムカレント	菅原 誠	1:16.0	6	
8. 12	エグザイター	藤田 大	1:16.0	4	
9. 6	コンパシオネ	石野 誠	1:16.0	8	
10. 3	ミノリシマー	藤田 大	1:16.2	11	
11. 7	ファステストネオ	藤田 大	1:16.7	5	

千葉県畜産賞No.4

馬名	厩舎	騎手	タイム	人気	注
1. 1	アスカ	藤田 大	1:10.0	1	
2. 2	アストニッシュ	菅原 誠	1:10.0	2	
3. 3	クラッシュボール	藤田 大	1:10.0	3	
4. 4	エイゼンツァン	藤田 大	1:10.0	4	
5. 5	コンジゴ	藤田 大	1:10.0	5	
6. 6	ネオローステム	藤田 大	1:10.0	6	
7. 7	オーキッドメモリー	藤田 大	1:10.0	7	
8. 8	ミセスウゴチャン	藤田 大	1:10.0	8	
9. 9	エイゼンツァン	藤田 大	1:10.0	9	

瞳は未来を見つめてる。

動物 未来 みつめる ひろがる

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社
 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

肉用子牛生産者補給金制度

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定を図ることを目的としています。肉用子牛生産者補給金制度に加入して経営の安定をはかりましょう。（企画課 武田）

◆ 平均売買価格と補給交付金単価

（単位：円／頭）

区分		品 種				
		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		531,000	489,000	314,000	161,000	269,000
合理化目標価格		421,000	388,000	249,000	108,000	212,000
元年度 第2 四半期	平均売買価格	764,300	606,300	257,400	228,100	420,000
	補給交付金単価	-	-	56,600	-	-

◆ 保証基準価格及び合理化目標価格

令和2年度の保証基準価格及び合理化目標価格について以下のとおり告示されましたので、お知らせいたします。（令和元年12月27日、官報第162号にて告示）

（単位：円／頭）

区分		品 種				
		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格		429,000	395,000	253,000	110,000	216,000

◆ その他

- (1) 令和元年度が第6業務対象年間の最終年度になり、無事戻しの作業を行いますので、契約内容に変更がある場合は、事務委託先を経由して速やかに手続きをお願いします。
- (2) 令和元年度は個人経営を中心に現地調査を行いますので、ご準備・ご協力をお願いいたします。
- (3) 令和2年度より第7業務対象年間に移行いたします。業務対象年間の移行に伴い、契約生産者の契約更新事前調査を実施しております。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

◆ 交付金単価【令和元年7～9月販売分】 ※交付金は1円単位での交付となります。

（単位：円／頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C)=(A)-(B)	交付金単価 (D)= C ×0.9
令和元年 7月	肉専用種	1,234,678	1,227,601	7,077	-
	交雑種	770,912	767,315	3,597	-
	乳用種	462,442	502,111	△39,669	35,702.1
令和元年 8月	肉専用種	1,181,628	1,228,356	△46,728	42,055.2
	交雑種	768,876	765,843	3,033	-
	乳用種	464,946	494,841	△29,895	26,905.5
令和元年 9月	肉専用種	1,214,756	1,228,852	△14,096	12,686.4
	交雑種	758,838	749,128	9,710	-
	乳用種	459,766	491,795	△32,029	28,826.1

【牛マルキン制度では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりませんのでご注意ください！】

牛マルキン制度は、肉用牛経営の安定を図る制度です。このため、肥育以外の目的に仕向けられた牛（繁殖雌牛や種雄牛）は交付金の交付対象となりません。（一部の一産取り肥育等は除く。）

繁殖雌牛や種雄牛を申込んだ場合は、速やかに本会にご報告ください。すでに納付された負担金は返金できませんが、業務対象年間終了後の基金の残額の返還の対象にはなりません。（企画課 小倉）

畜産関係施設リース（通常リース）のご案内

通常リースのほか、国等の補助事業による補助付リースも実施（補助残の価額で貸付け）しております。詳しくはホームページで

（公財）畜産近代化リース協会のリース事業（通常リース）の特徴・仕組み

◎ 経営資金が有効に使えます

機械の導入時に多額の購入資金を必要としないので、資金を有効に生かすことができます。

◎ 導入する機械施設、購入業者が選べます

リース物件は、農家が自由に選定でき、購入価額も業者と交渉して決めていただけます。

◎ リース物件は、リース期間終了後は自分のものになります

リース期間が終わったら、購入価格の100分の10の額に消費税相当額を加えた額でリースを受けた方に譲渡されます。

◎ リース期間中は、偶発的事故の損害が補償されます

リース機械施設は割安な掛金で損害保険（動産総合保険）に一括加入されるので、リース期間中の火災・落雷・盗難等偶発的な事故による損害が補償されます。

◎ 農家には農業協同組合等を通じてリースされます

リース物件は、農家が選んだ業者から当協会が購入し、農業協同組合等にリースします。農家は、この農業協同組合等から再リースされます。

◎ 特認貸付けもできます

リース可能な機械施設は別表のとおりですが、これ以外でも協会の理事長が特に必要として認めたときは、特認でリースすることができます。本措置を利用して、成分分析機器などもリース可能です。詳しくは、当協会にご相談ください。

◎ リース期間の短縮・延長ができます

農家の要望によって、例えば法定耐用年数7年の機械の貸付けにおいて、通常のリース期間6年を4年から9年の範囲で変更することができます。

◎ 中古機械もリースします

一定の要件を満たすものは、中古機械（機械施設の種類及び耐用年数の残存期間は問いません。）もリースの対象となります。

◎ 信用保険にも加入（任意）できます

当協会から畜産機械施設のリースを受けている農家の方が、いろいろな事情で経営が破たんし、リース料を納入できなくなって保険事故と認定された場合に、保険会社が代わりに保険金として支払う保険制度です。

（概要）

- 対象となる機械施設は畜産機械施設で、保険期間は開始から最長9年間です（ただし、加入時において赤字経営の方は対象からはずれます。）
- 保険料はリース料残高（残債）の0.5%です。保険金の上限を2,000万円としていることから、1年間の保険料は最大で約100,000円となります。
- 一旦この保険に加入すると、次回以降のリース機械はすべて保険に加入することとなります。ただし、複数の機械が対象になっても、保険金の上限は2,000万円です。

◎ 随時、迅速に貸付けします

当協会のリース申請は、随時、受け付けており、貸付契約も迅速な処理で、農家が必要な時に早急な機械施設の整備が可能です。

リース料等の支払い事例

● 畜産関係施設

- ・リース物件：ブロードキャスター
- ・リース期間：6年
- ・取得した価額：1,100,000円（取得価額1,000,000円、消費税100,000円）
- ・借受者：畜産農家
- ・リース開始日：令和2年4月1日

【支払回別の支払額】

年度別	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		合計
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
リース料	取得価額分	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	900,000
	消費税	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	90,000
	附加貸付料 （利子：残債の1%）	5,000	4,625	4,250	3,875	3,500	3,125	2,750	2,375	2,000	1,625	1,250	35,250
譲渡価格	取得価額分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100,000	100,000
	消費税	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10,000	10,000
動産総合保険料	7,510	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,510
信用保険料（任意）	2,749	2,543	2,337	2,131	1,924	1,718	1,512	1,306	1,099	893	687	481	19,380
支払額（信用保険未加入）	95,010	87,125	86,750	86,375	86,000	85,625	85,250	84,875	84,500	84,125	83,750	193,375	1,142,760
支払額（信用保険加入）	97,759	89,668	89,087	88,506	87,924	87,343	86,762	86,181	85,599	85,018	84,437	193,856	1,162,140

注1: 貸付料等の支払いは、毎年、3月末と9月末の2回に分けて支払っていただきます。

注2: 動産総合保険料は、機械の種類等によって若干異なります。

注3: 信用保険の加入は、借受者の任意です。

注4: このほか、このリースを扱う農協等の事務手数料がかかる場合があります。

注5: 中古畜産機械のリース料についても、上表に準じて計算されます。

また、動産総合 保険の対象にもなります。

主なリース機械施設、リース期間等

区分	施設名	主要なリース機械施設(注:リース期間は6年、ただし△印は5年) ※下表に無い機械施設でも畜産用であればリースが可能ですので、下記までお問い合わせ願います。
飼料生産利用施設	草地造成用機械施設	ブルドーザー、トラクター、ショベルローダー、ストーンクラッシャー、バックホー、プラウ、ライムソワー、ブロードキャスター、ブームスプレーヤー、ローターベーター、ロータリー、連絡用車両(普通自動車)、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
	自給飼料生産利用機械施設	トラクター、ホイールローダー、ロータリー、コーンハーベスター、テッダー類、レーキ類、モアー類、プラウ、コンディショナー、フォレージハーベスター、マニヤワゴン等ワゴン類、飼料攪拌機、播種機、散布機、マニヤスプレッター、スラリーポンプ、バキュームカー、ラッピングマシン、フロントローダー、カッター、ロールベラー、ロールカッター、ヘイベラー、FRPサイロ、コーンプランター、ミニスーパーカー、ペールディストリビューター、サイララップ、ラウンドベラー、コンビラップ、トラック、牧柵、農業用GPS、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
家畜家きん飼養施設	生乳生産合理化施設 (1)搾乳施設 (2)生乳冷却貯蔵施設 (3)生乳検査機械	パイプラインミルクカー、ミルクングパーラー、ロータリーパーラー、搾乳ロボット、自動搾乳システム、ユニット自動搬送システム、バルククーラー、プレートクーラー など 生乳成分分析装置、体細胞測定装置 など
	精液保管等施設	凍結保管器、液体窒素保管器、補給器、データ処理装置、無停電電源装置、輸送用車両(普通自動車、△軽自動車)、トラック など
	畜舎環境改善機械施設	清掃システム(パンクリーナー等)、スクレーパー、集ふん機、スラリーポンプ、袋詰装置、発酵装置、攪拌装置、乾燥機、焼却機、送風機、固液分離機、浄化装置、トラクター、ホイールローダー、消毒装置、細霧装置、節電機、発電機、哺育機、通風装置、受電装置、牛床マット、給水施設、給湯施設、自動給餌機、発情検知システム、滅菌機、飼槽、乳頭清拭装置、高圧洗浄機、電動カウブラシ、牛群管理システム、スタンション、哺乳ロボット、パシチャライザー、カーフフィーダー、パレタイザー、牛舎柵、カーフハッチ、畜舎カーテン、監視システム・カメラ、削蹄機、除雪機、血液分析・超音波診断・X線診断等の家畜診療用機械、家畜診療用車両(普通自動車)、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、家畜診療用車両(軽自動車)、△軽トラックなど
	中小家畜管理機械施設	清掃システム(パンクリーナー等)、スクレーパー、集ふん機、袋詰装置、発酵装置、攪拌装置、乾燥機、焼却機、送風機、固液分離機、浄化装置、トラクター、ホイールローダー、消毒装置、細霧装置、通風装置、自動給餌機、計量器、豚舎柵、鶏舎ケージ、スノコ、カーテン巻上機、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
家畜畜産物流通施設	家畜市場機械施設	電光セリ機、個票発行機、電光掲示盤、体重計計測装置 など
	食肉食鶏処理流通施設	冷凍機、冷却機、製氷機、クーラーユニット、自動オープナー、電気スタナー、ラップケーサ、マイクロバス、ダンボール印字機、ポイラー、スチールベルト、スーパーチラーベルト、コンテナ段積機、オートチェッカー、コンベヤー類、真空包装機、梱包機、洗浄機、電撃機、皮剥機、昇降機、自動洗浄背割機、ネックスリッター、掛替機、焼機ライン、自動製函機、肺取機、脱骨機、フライヤー、金属検出機、スキナー、テーブルリフト、チョップカッター、オゾン発生装置、ハムスライサー、ロボクープ、脱毛機、スパイラルフリーザー、計量器、小腸切開機、大腸切開洗浄機、トラック、△フォークリフト、△軽トラック、△冷凍車、△冷蔵車 など
	鶏卵又は生乳処理流通施設	鶏卵選機、集卵機、汚卵洗浄機、割卵機、トラック、△フォークリフト、△軽トラック、△冷凍車、△冷蔵車、アイスクリーム製造機、ソフトクリーム製造機、冷凍庫 など
	特認機械施設	上記以外のリース機械についても、協会の理事長が特に必要として認めるときは、特認機械施設として貸付けを受けることができます。これまで、特認機械施設の適用事例として、成分検査分析機器、牛乳プラント等があります。

詳しいことをお知りになりたい方は、(公社)千葉県畜産協会、最寄りの農業協同組合
又は(公財)畜産近代化リース協会までご連絡ください。

(公財) 畜産近代化リース協会

TEL:03-3584-0899 FAX:03-3584-0758

(公社) 千葉県畜産協会 事業部 担当: 飯沼

TEL:043-242-5417 FAX:043-238-1255



チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。



◆枝肉品評会

東京食肉市場株式会社において、下記のとおり枝肉品評会が開催されました。

【第12回チバザビーフ枝肉研究会 (R1.10.10)】

■出品頭数 42頭 (黒毛和種21頭、交雑種21頭)

■黒毛和種の部

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	(農)宮澤農産	2,912	1,665,664	アンデス食品(株)	千葉県知事賞
優秀賞	(株)高梨牧場	2,871	1,558,953	(株)ミトイトリ	千葉県畜産協会 会長賞
優良賞	(株)大川畜産	2,795	1,746,875	アンデス食品(株)	全国畜産農業協同組合連合会 会長賞

■交雑種の部

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	糸賀 光男	1,817	1,112,004	(株)ミトイトリ	千葉県知事賞
優秀賞	(株)宇井畜産	1,714	886,138	(株)オーエムアイ	東京食肉市場株式会社 社長賞
優良賞	土屋 孝亮	1,720	983,840	(株)ミトイトリ	全農千葉県本部 県本部長賞

【第13回チバザビーフ枝肉研究会 (R1.11.27)】

■出品頭数 44頭 (黒毛和種16頭、交雑種28頭)

■黒毛和種の部

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	(株)高梨牧場	3,024	1,753,920	アンデス食品(株)	千葉県知事賞
優秀賞	(株)大川畜産	2,909	1,646,494	アンデス食品(株)	千葉県畜産協会 会長賞
優良賞	(合同)諸川牧場	2,601	1,336,914	マルイミート(株)	全国畜産農業協同組合連合会 会長賞

■交雑種の部

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	(株)熱田牧場	1,903	1,212,211	(株)マルフジ	千葉県知事賞
優秀賞	(有)関口牧場	1,702	1,130,128	小川畜産興業(株)	東京食肉市場株式会社 社長賞
優良賞	鈴木敏夫	1,730	922,090	小川畜産興業(株)	全農千葉県本部 県本部長賞

◎第12回チバザビーフ枝肉研究会



黒毛和種の部 最優秀賞
農事組合法人宮澤農産 様



交雑種の部 最優秀賞
糸賀 光男 (貴志) 様

◎第13回チバザビーフ枝肉研究会



黒毛和種の部 最優秀賞
(株)高梨牧場 様



交雑種の部 最優秀賞
(株)熱田牧場 様 (代理)

【今後の枝肉品評会等の開催日程】

第10回チバザビーフ枝肉共励会

【前夜祭】 期日：令和2年2月25日(火) 場所：第一ホテル東京シーフォート

【枝肉共励会】 期日：令和2年2月26日(水) 場所：東京食肉市場株式会社

出品予定頭数：80頭 (黒毛和種、交雑種)

◆活動状況報告

各種イベント等に参加・協力し、県産牛肉の知名度向上を図っています。

☆船橋競馬場「ハートビートグルメシリーズ！チバ肉フェスinフナバシ」(R1.9.23~27)



船橋競馬場の第7回開催期間に、チバザビーフ・チバザポークを中心とした料理を提供する肉フェスを開催いたしました。

食育ネット株式会社(ジャンボフランク、肉巻き棒)、株式会社シェフミートチグサ(粗びきフランク、もつ煮込み)、小六茶屋(牛カルビ丼、チャーシュー丼)など計11店(期間中1日限りの出店も含む。)に出店いただきました。

☆成田ゆめ牧場「ゆめの収穫祭～Oh!イモホリディ～」(R1.9.28・29)

成田ゆめ牧場の収穫祭が開催され、チバザビーフのPRステージ(PR大使「コズミック☆倶楽部」出演。)と試食配布(エーカー広場・まきばのマルシェ内)を行いました。(両日ともPRステージ2回、試食配布2回実施。)また、抽選会へも賞品を提供し、千葉のうまい牛肉を来場者にPRしました。



☆「肉の宝庫！ちばのビーフ&ポークまつり」(R1.10.1~31)

チバザビーフ・チバザポークを取り扱う飲食店、直売所、道の駅、計20店舗にご協力いただき、県産牛肉・豚肉が当たる応募キャンペーンを実施いたしました。応募総数は1,000通を超え、県産牛肉・豚肉の十分なPRを実施することができたとともに、一般消費者からの率直な意見を聞くことができる貴重な機会ともなりました。計30名に県産牛肉・豚肉が贈られました。



【A賞】 1名(ちばのビーフ&ポーク詰め合わせ)

【B賞】 16名(うまい牛肉チバザビーフ)

【C賞】 13名(旨さが多彩チバザポーク)

☆京成ホテルミラマレ「いい歯のイベント2019 8029式典・千葉県口腔保健大会」(R1.11.10)

11月8日が『いい歯の日』であることにちなみ、歯と口の健康向上のためのイベント『いい歯のイベント2019』が開催され、千葉県歯科医師会が掲げる「8029(ハチマル肉)」とともに県産食肉の普及・PRを行いました。

会場では、8029の普及グッズの配布、口臭測定・骨密度検査など歯と健康に関する情報発信や体験会の他、チバザビーフ・チバザポークのPRブースを設置、県産牛肉・豚肉をホテルに提供し試食を配布していただきました。また、ちばのビーフ&ポークのミニ講演やチバザビーフPR大使を務めるコズミック☆倶楽部のライブも行われました。8029式典ではPRキャラクターが発表され、今後「8029」のPRに起用されます。



◆公式ホームページ

下記アドレスまたは右記のQRコードよりアクセス下さい。(事務局 小倉)

☆イベント情報・取扱店情報 <http://chibathebeef.jp/>



わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>





レッドブル・エアレース開催に併せ、「ちばフードフェスティバル」が開演しました!

令和元年9月7日(土)・8日(日)幕張海浜公園において、本大会が最後のレースとなるレッドブル・エアレース千葉2019が開催されました。

会場内では、千葉県産の食材を使用した飲食や物産など食のテーマパーク「ちばフードフェスティバル」が開演し、今年は特別企画として「ちば豚まつり」が開催、チバザポーク参加銘柄豚を使用した店舗が多数出店しました。

写真(左):「東の匠SPF豚」のホットドッグ

写真(右):「千葉県産いも豚」焼きそば



船橋競馬場にてハートグルメシリーズ「チバ肉フェスinフナバシ」が開催されました!



令和元年9月23日(祝・月)~27日(金)の期間、船橋競馬場を会場に肉フェスが開催されました。

地元千葉県で生産された「安全・安心で美味しい豚肉」を使用した、チバザポークの焼肉や、銘柄豚のフランクフルト・豚しゃぶ・串焼きなど絶品グルメの販売が行われ、多くの来場者に味わっていただきました。

《各銘柄豚による出店》 9/23: 柏幻霜ポーク・元気豚

9/24: 房総ポーク・堀江ファーム

9/27: 緑茶豚・総の銘柄豚林S P F

抽選で千葉県産牛肉・豚肉が当たるキャンペーンを開催しました!

令和元年10月1日(火)~31日(木)の1か月間、県内の飲食店・直売所など参加店舗へご来店の方を対象に、抽選で合計30名様に「チバザビーフ」「チバザポーク」が当たるキャンペーンを開催し、1,000通を超える応募をいただきました。



ご応募いただきました皆様方、またご協力いただきました店舗の方々ありがとうございました。

【A賞】1名(ちばのビーフ&ポーク詰め合わせ)

【B賞】16名(うまい牛肉チバザビーフ)

【C賞】13名(旨さが多彩チバザポーク)

県内ホテル&レストランでチバザポークフェスタ2019が開催されました!



令和元年11月1日(金)~30日(土)の1か月間、今年も「チバザポークフェスタ」が開催されました。

「チバザポーク」を使用した多彩な豚肉料理を県内8社のホテル&飲食店にて提供、バラエティーに富んだ味覚の数々をお楽しみいただきました。

写真(左):京成ホテルミラマーレ

「なでしこポーク」3種の味わいセット

写真(右):ホテルオークラ東京ベイ

「マーガレットポーク」バラ肉のコンフィ



「いい歯のイベント2019」に、チバザポークのブース出展を行いました!

11月8日が『いい歯の日』であることにちなみ、歯と口の健康向上のための催し『いい歯のイベント2019』が、令和元年11月10日(日)、京成ホテルミラマーレにて開催され、千葉県歯科医師会が掲げる「8029(ハチマル肉)」とともに県産豚肉の普及・PRを行いました。



当日は、いい歯のブースにおいてチバザポークのPRブースを設置したほか、チバザポーク参加銘柄豚「マーガレットポーク」を使った料理をお客様へ提供いたしました。

なお、同会場では『ちばのビーフ&ポーク』についてのミニ講演、また、式典では8029運動のPRキャラクターの発表がありました。

「秋の観光まつり」が開催され、チバザポークの焼肉配布を行いました!

11月16日(土)、南房総市にある「千葉県酪農のさと」を会場に、秋の観光まつりが開催されました。当日は酪農資料館で「おいしい牛乳をありがとう」をテーマとした絵手紙コンクールの応募作品が展示され、審査に参加いただいた方にチバザポーク「花悠豚」の焼肉を無料配布いたしました。お客様からは、「やわらかくて美味しい。」「どこで買えるの?」などの意見を頂きとても好評でした。



「全国ねぎサミット2019」が開催され、ねぎとチバザポークのコラボ料理が提供されました!



令和元年11月23日(土)・24日(日)、松戸市の21世紀の森と広場・森のホール21にて「全国ねぎサミット2019」が開催されました。

全国から22産地のねぎが大集合し、参加産地の自慢のねぎや産地の魅力がPRされました。

チバザポークは、開催地である松戸市の「松戸ねぎ」とコラボし、『松戸ねぎの豚バラ巻焼き』を販売。

当日はあいにくの雨となりましたが、千葉県品の味の融合を来場者に楽しんでいただきました。

◆ イベント情報等はこちらから! <https://chibathepork.jp/>

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

約50作を公開中!
随時更新します

畜産現場の“今”を30分の番組にしました がんばる! 畜産! 2

★皆川牧場(酪農/船橋市)、千葉NOSAI石山大先生にも密着★
★各種セミナーや研修会にも!★

スマートフォンからはこちら▶
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



1 CSF（豚コレラ）・ASF（アフリカ豚コレラ）対策要請（2019.9.25）

一昨年9月に岐阜県の養豚場において26年ぶりに豚コレラの発生が確認されて以降、愛知、三重、福井県へと感染が拡大し、昨年9月には、長野、埼玉県でも発生が確認されるなど、関東地域での感染拡大リスクが高まってきた。国の対策において、丸一年経て封じ込めができず、逆に感染が拡大し、ついに養豚一大産地である関東での感染が確認されたことから9月20日、ワクチン接種に消極的だった農林水産省がワクチン接種に踏み切った。

今回の台風被害の大きさもさることながら、豚コレラの感染拡大やアフリカ豚コレラの侵入に対し、本県の養豚生産者は不安の日々を送っていることから、（公社）千葉県畜産協会、ナイスポークチバ推進協議会連名で森田千葉県知事に対しワクチン接種推奨地域承認の要請書を提出した。



1 豚コレラへの対策

- (1) 未発生県での予防的なワクチン接種の早期実施
- (2) 豚・豚肉の流通における制限がないよう流通体制の構築
- (3) ワクチン接種した場合の風評被害・価格下落対策の構築
- (4) 農場で実施する野生イノシシ侵入防止対策（柵の設置）への県の上乗せ助成

2 アフリカ豚コレラへの対策

- (1) 畜産物（豚肉及びその肉製品）の違法持ち込みに対する罰則の強化

2 豚コレラ講習会・防疫演習開催（2019.9.30）

豚コレラの発生拡大で産地に警戒感が強まる中、千葉県の養豚密集地帯旭市において豚コレラ講習会・防疫演習が旭市養豚推進協議会、（公社）千葉県畜産協会、ナイスポークチバ推進協議会の主催により開催された。この地域の生産者組織は、防疫に対する関心が強く、生産者間で防疫の情報を共有するネットワークが構築されている。講演ではワクチン接種の在り方やイノシシ対策について学び、万が一の発生を想定した防疫演習を実施。会場には、地元旭市の生産者のほか、近隣市町村の生産者、関係者に加え関連企業、関係団体総勢160名が参加。演習に先駆け前段では次の内容で講演された。



★豚コレラ「今」という局面

- (株) アニマル・メディア社編集長
岩田 寛史先生
1. バイオセキュリティの推進
 2. 病気と共存する養豚から脱皮こそステータス
 3. 日本は圧倒的な豚肉輸入国



★鳥獣害対策

- 国立研究開発法人
農研機構西日本農業研究センター
グループ長 江口 祐輔先生
- 野外に野生イノシシの餌となる農作物を廃棄しているケースが多く見られる。野生イノシシはそれを求め集落に降りてくる。人間がイノシシを呼び寄せていると注意を促す。

★防疫演習

万が一の発生を想定した防疫演習は「どうなる？旭市で豚コレラが起きたら！」とのテーマで行われた。発生農場、移動・搬出制限農場、管理獣医師、家畜保健衛生所、地元養豚推進協議会会長とそれぞれ演じ手とナレーター兼解説により進められた。豚コレラの通報から疑似患畜の確定までを時間の流れに沿ってシミュレーションし、プロジェクターで連絡の伝達や対策の注意などを伝えた。制限区域内農場の出荷の可否、制限区域解除や清浄性確認の流れなども解説した。

総合討論の中では、「豚コレラ判断を農場一人で背負うのは重過ぎる」など多くの発言があった。

講演された岩田ピッグジャーナル編集長から防疫演習を総括して、「貴重な研修を生産者を交えて大勢集まってやる機会を始めて目にした。すごい事で、こういうことを積み重ねることで、地域の意識が高まっていく、よそでもやっていくことが必要」と語った。

終わりに、防疫部会の松ヶ谷裕部会長から「防疫は最終的には自己責任だが、情報を共有し、みんなで被害を出さないように工夫をしていきたい。」と挨拶し、講習会を締めた。

旭市近隣市町からの参加もあり、地域における対応の輪を広げる良き機会となることを期待したい。



3 第32回養豚振興プロジェクト（消費者団体との交流）委員会開催（2019.10.24）

外国とのコスト競争を視野に入れ、養豚生産基盤の強化と養豚振興推進のため、生産者及び関係機関が共通の認識を持ち、構造的な課題の検討と改善を図ること、そして、生産した豚肉を県内外広く消費を図るための消費者交流会の開催を年2回計画している。今回千葉県消費者団体連絡協議会（会長・和田三千代）役員20名が富里市を訪れ開催した。午前中（株）堀江ファームを視察し、昼食で県産ポークを試食し、その後情報交換を行った。



★情報交換会

（1）農場視察及び豚肉試食に関する感想と消費拡大推進について

東葛飾地域は、茨城県の豚肉が多く販売されている。千葉県としての消費拡大の取組みは、との問いに「チバザポーク」についてその活動の内容を紹介。スーパー・量販店に千葉県産の豚肉を置いてもらうには、消費者の皆さんがお店に置いて欲しいと声かけすることが必要。是非お願いしたい。



（2）養豚業界の現状について

本年1～8月期の豚肉輸入の動向を見ると、TPP、EPAにより輸入が増加。過去10年間で最も多く前年同期を4%上回る。

また、疾病問題では豚コレラが養豚地帯である関東（埼玉県）で発生が確認されたことから漸く国はワクチン接種に踏み切った。千葉県でも生産者総意によりワクチン接種を要請している。現在10県がワクチン接種推奨県として決まっている。早期にワクチン製造を進めてもらい、発生する前に何とかワクチン接種をと関東各県は同じ考えを持っている。確認された豚コレラに加え、アジア全体に感染が確認されつつあるアフリカ豚コレラは現在台湾と日本だけが清浄国。いつ侵入されてもおかしくない状況で国は水際対策に力を入れている旨状況を説明。



（3）消費者団体の皆さんからの質門について

豚コレラワクチンを接種することによる風評被害が心配されていることから消費者の皆さんの意見をお聞きした結果、豚コレラは人には感染しないと聞いている。コレラという名前から心配する人もいっているのではないかと発言があった。

4 第43回千葉市民産業まつり参加（2019.11.4）

文化の日の振替休日、千葉市中央区にあるポートタワー周辺緑地において恒例の千葉市民産業まつりが開催され出展参加した。このイベントの目的は「千葉県及び千葉市の地場産品を広く市内外にプロモーションするとともに、千葉市中央地区における販売の創出と会場来場者へのサービスを目的に実施する」こと。

今回、台風15号被災の影響から生産者の参加者は得られず、関係者14名により消費拡大のため来場者にPRした。イベントの内容は、焼肉大盛り一皿300円での販売、アンケート・クイズに答えて抽選で千葉県産コース1kgブロック（50本）プレゼント、加えて今回は国宝首里城焼失復興支援のための募金を募った。

少ないスタッフでのフル回転の作業に加え、デザインが決まり新たに作成を計画している着ぐるみの名前募集も実施した。



ナイスポークの新たなマスコットの名前を募集しています。
最終審査ノミネート者に県産高級銘柄豚肉プレゼント

応募時期：2020年4月末日・完成5月上旬

ナイスポークチバ推進協議会 事務局：加藤

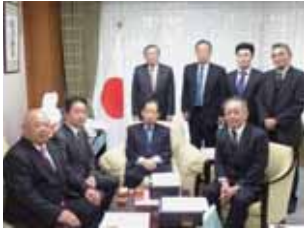
TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255

(→次頁に続く)

5 CSF（豚コレラ）対策早期実現を地元国会議員への陳情（2019.11.7）

旭市養豚推進協議会（会長：高橋 守）は、CSF（豚コレラ）予防的ワクチン早期実施とワクチン使用による風評被害対策を求め地元選出国会議員（千葉10区：林 幹雄衆議院議員）に陳情を実施し、ナイスポークチバ推進協議会もこれに賛同し共に対応した。

陳情は林先生の配慮により、二階 俊博自由民主党幹事長にもお願いすることができた。



豚コレラワクチン接種及び豚コレラの名称変更に関する陳情について

1. 千葉県内におけるイノシシや養豚場での豚コレラの1例目発生を待たずに、ワクチンの数量が整い次第千葉県内の養豚場にてワクチン接種を実施する（ワクチン接種推奨地域にする）こと
2. 国産ワクチンの増産加速および海外産マーカーワクチンの早期承認による迅速かつ十分なワクチン供給体制を確立すること
3. 豚コレラの名称をCSFに、アフリカ豚コレラの名称をASFに改めること

6 JPPA俺豚2019盛大に開催（2019.11.9～10）

（一社）日本養豚協会（JPPA）青年部は、今年も第10回ファーマーズ&キッズフェスタ2019に出展参加し、安心・新鮮・美味しさを2日間に亘り国産豚肉のPRを行なった。初日は快晴に恵まれ、東京日比谷公園「にれの木広場」の一角を会場として開催し多くの来場者がブースを訪れた。

全国の銘柄豚の「しゃぶしゃぶ」「焼肉」の試食提供、アンケート、ホットドッグ早食い競争、豚の鳴き声長さ競争など盛り沢山の企画で開催された。

今年も好天に恵まれ、例年になく多くの来場者に国産豚肉を大いにアピールできた。メディアを使った全国展開によるPRも求められます。まずは、CSF・ASF対策の防疫対策をしっかりと行い、並行して養豚チェックオフ制度の法制化達成に向け再度運動を強めていかなければなりません!!



7 2020年オリンピックサーフィン会場へポスター持参（2019.11.14）

2020年7月24日～8月9日までの17日間開催されるオリンピック東京大会（夏季）のサーフィン競技は、長生郡一宮町にある九十九里浜の南端に位置する「釣ヶ崎海岸」を会場として開催される。ナイスポークチバ推進協議会は、2018年・2019年版ポスターは豚とサーフィンによるデザインで作成しており、2020年版も同じサーフィンスタイルで準備を進めている。

サーフィン競技は、7月26日（日）から29日（水）の4日間でメダルを争うことになる。

大会2日目から9日目までサーフィンフェスティバルも開催される。

また、ナイスポークチバ推進協議会は競技期間中の一宮町独自イベント（7月26日～8月2日の8日間）16：00～20：00に参加を希望している。今回、ポスターを掲示願うべく、堀江光洋顧問と事務局とで一宮町役場企画課を訪問しお願いした。



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 理事会報告

令和元年12月26日(木)公益社団法人千葉県畜産協会会議室に於いて、千葉県農林水産部畜産課菊池主幹、千葉県畜産協会松木専務理事の来賓出席のもとに、役員9名の出席を得て理事会(第2回)が開催されました。主な協議事項等は下記のとおりです。

【令和元年度事業進捗状況報告】

①農場HACCP構築支援指導 (公益社団法人中央畜産会)

本事業は(公社)千葉県畜産協会からの依頼に基づき県内への農場HACCPの普及推進を図ることとして昨年度に引き続き県内畜産農家への構築支援や、現在、農場で取組んでいる農家へ内部検証等更なる飼養衛生管理強化向上の支援に努めています。

■進捗状況：令和元年度実施状況

■指導員：15名の指導員を中心として、酪農：4農場、肉用牛：16農場、養豚：21農場、採卵鶏：3農場、ブロイラー：1農場、合計：45農場を実施。

☆現在までの、県内の農場HACCP認証取得状況：45農場

(内NPO指導：乳用牛2、肉用牛3、豚31、採卵鶏4、ブロイラー1 計41農場)

②JGAP認証構築等支援 (千葉県)

(公社)千葉県畜産協会からの依頼に基づき、県内へのJGAP畜産版の普及推進、構築支援に努めます。

■進捗状況：指導員として県内構築農場を指導

■NPO会員：5名、指導農場：肉用牛3農場、豚4農場、採卵鶏1農場

③死亡牛等の受入及び保管等補助業務委託(千葉県)

中央家畜保健衛生所(佐倉)で実施している死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する。

■進捗状況：NPO 5名、136日/184日(12月末)

④畜産研修会：千葉市内で開催

第1回：令和元年6月20日 総会終了後 TKP千葉駅前東口ビジネスセンター出席者：45名

■演題1 ビフィドバクテリウム サーモフィラム由来ペプチドグリカンによる免疫賦活について

講演者 佐々木アニマルヘルスケアクリニック(当会員) 元全農家畜衛生研究所 所長 佐々木 隆志 先生

■演題2 「国際化対応の家畜改良」

講演者 一般社団法人家畜改良事業団 理事長 伊地知 俊一 先生

⑤千葉県農業大学校：畜産部門10講座の非常勤講師を8名紹介

⑥野生獣衛生体制整備緊急対策事業 (公益社団法人中央畜産会)

千葉県畜産協会の依頼に基づき、地域での野生獣の連絡協議会の参加や、野生獣疾病の調査等に協力。

■NPO会員4名協力

⑦エコフィード・TMR普及定着推進事業 (千葉県)

千葉県畜産協会の要請：エコフィードコーディネーター：NPO会員3名

⑧畜産団体事務受託事業

一般社団法人千葉県農業協会の依頼により、台風被害補助事業に係る事務処理業務のため会員1名を紹介。

2. 令和元年度第2回畜産研修会の演題・講師、開催日、開催場所が決定

①開催日時 令和2年2月6日(木) 午後1時30分～4時30分

②開催場所 千葉県教育会館 別館3階 会議室 (電話：043-227-6141)

千葉県千葉市中央区中央4丁目13-10

③研修会内容 ■講演1 午後1時30～3時10分(100分)

演題：仮題「豚コレラ、アフリカ豚コレラについて」

講演者：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門
越境性感染症研究領域(アフリカ豚コレラユニット) 國保 健浩 氏

■講演2 午後3時30分～4時30分(60分)

演題：仮題「牛の繁殖障害について」

講演者：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター会員 見学 一宏 氏

(→次頁に続く)

3. 会員状況及び会員募集中

○現会員数：80名（内訳 個人66名、団体11団体、賛助3団体）

平成30年度新規加入：団体：1会社、個人会員：4名

NPO会員募集中

NPOでは農場HACCP認証構築支援指導やJGAP支援・指導、BSE補助業務、エコフィードコーディネーター等各種の事業支援に取り組んでいます。

NPO活動参加可能な分野、ご意見等をお聞かせ頂きたいいたします。

入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

お問い合わせ…NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（（公社）千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

令和元年度エコフィード研修会開催のお知らせ

公益社団法人千葉県畜産協会主催、千葉県の共催によりエコフィード研修会を開催いたします。参加費無料、事前の申込みが必要となります。

本協会会員はじめ畜産関係各所へ通知いたしますので、これらを通じてお申し込みをお願いいたします。皆様お誘い合わせの上、多数のご来場をお待ちしております。（企画課 武田）



日時：令和2年2月18日（火）13時30分～16時30分

場所：ホテルプラザ菜の花（千葉市中央区長洲1-8-1）

内容：地域性を考慮した未利用資源の飼料化と食肉生産への影響について

～エコフィードを活用した高品質な畜産物の生産～

講師：宮崎大学 農学部 畜産草地科学科 動物生理栄養学分野 准教授 高橋俊浩 先生

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを
改めて認識してください。

地方競馬の収益金は
畜産の振興に
役立っています。



本誌「畜産ネットワークちば」に広告を掲載していただませんか！

年3回発行（春、秋、新年）。掲載は、頁最下段にこの大きさ（170mm×45mm）で。

掲載料1回1万円（1回単位で申し込めます）

お問い合わせは、千葉県畜産協会 総務・企画部まで（Tel 043-242-5417）

部署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417（代）	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	

Eメール：info@chiba.lin.gr.jp

URL <http://chiba.lin.gr.jp>